

「甲府 きょういくの日(教育・共育・郷育)」制定宣言

私たち甲府市民は、郷土を愛し、その発展を願っています。そのために、次代を担う子どもたちを、地域・家庭・学校・企業・団体・行政が一体となり、協働して見守り、育むことが大切であると信じます。

未来を託す、甲府の宝である子どもたちが、明るくいきいきと毎日を過ごし、将来に夢を持ち、目標をもって成長することは、私たち市民の願いであり、そのための「きょういく」環境を整備することは、大人の責任であります。

すべての市民が「教え育て、共に育ち、郷土を育む」ため、そして、思い遣る心と生きる力をもった人となるため、市民に親しみのある市制施行記念日の10月17日を「甲府 きょういくの日(教育・共育・郷育)」とするものであります。

この「甲府 きょういくの日(教育・共育・郷育)」を契機とし、「きょういく」を考え、市民が一体となり郷土を育み、未来を担う子どもたちを健やかに育んでいくことを期して、ここに「甲府 きょういくの日(教育・共育・郷育)」の制定を市制施行120周年記念式典において宣言いたします。

平成21年10月17日 「甲府 きょういくの日(教育・共育・郷育)」制定会議

※甲府市では、平成25年3月に策定した「甲府市生涯学習ビジョン」に基づき、様々な事業を展開し、生涯学習社会の構築を推進しています。

《生涯学習マスコット「マナビィ」のご紹介》



「マナビィ」は、文部科学省の依頼により、漫画家の石ノ森章太郎さんがデザインしたマスコットです。「生涯学習の【まナビィ】」と「みつばちの【bee】」を合成し、「マナビィ」と名付けられました。現在では、生涯学習啓発活動のマスコットとして全国各地で用いられています。

触覚が3本あるのは、「学」の字に角が3本あることに由来しています♪